

未来を拓け、みささっ子創造事業

21世紀を生きぬく中学生講演会

「挑 戦」



陸上競技選手
パラリンピックメダリスト
やまもと あつし

山本 篤 氏

と き 平成29年10月20日（金）

開 場 14:00 講 演 14:30～16:30

と ころ 三朝町総合文化ホール 大ホール

- ・ 入場無料
- ・ 一般の方どなたでもお越しいただけますので、お誘い合わせの上、御参加ください（事前申込不要）。
- ・ ただし、会場の定員（約 400 名）を越える場合、入場をお断りする場合がありますので御了承ください。

主催/三朝町・三朝町教育委員会

【講師プロフィール】

山本 篤（やまもと あつし） 氏



所 属	スズキ浜松AC
競 技	陸上競技（短距離・走幅跳）
生 年 月 日	1982年4月19日生
出 身 地	静岡県掛川市
出 身 校	掛川西高 一 大阪体育大学
尊敬する選手	キム・コリンズ
趣 味	ゴルフ・自転車・スノーボード

【略歴】

1998年、静岡県立掛川西高等学校入学。年身長168cmながら1mを超すジャンプ力でバレーボールのアタッカーとして活躍していたが、2000年3月、高校2年の時に起こしたバイク事故によって左足を腿から切断。

2001年、高校卒業後に通った日本聴能言語福祉学院・義肢装具学科で陸上に出会い、アスリートとしての本能が疼いたことで、2004年、大阪体育大学に進学。T42クラス（片大腿切断等）100m、走幅跳で日本記録を更新し、欧州選手権の走幅跳で銅メダル獲得するなど、日本代表級の実力を身につけた。

2008年スズキに入社、北京パラリンピックで銀メダルを獲得。その後も、アジアパラ競技大会、世界選手権など多くの国際大会でメダルを獲得した。

2016年5月に行なわれたパラ陸上日本選手権の走幅跳で当時の世界記録を更新。リオデジャネイロパラリンピックでは4×100mリレーのアンカーを務め銅メダル、走幅跳で自己ベストタイの跳躍で銀メダルと2つのメダルを獲得した。

【主な競技歴】

2002年	陸上競技スタート
2003年	100m 13秒83（日本記録）
2004年	100m 13秒54、走幅跳 5m45（日本記録）
2007年	Meeting Gaz De France 100m4位 12秒85（日本記録更新）
2008年	北京パラリンピック 走幅跳2位 銀メダル 5m84、100m5位 13秒68
2010年	広州アジアパラ競技大会 100m優勝 金メダル 13秒08
2012年	ロンドンパラリンピック 100m6位 12秒92、200m8位 26秒76、走幅跳5位 5m95
2014年	仁川アジアパラ競技大会 100m優勝 金メダル 12秒81 走幅跳優勝 金メダル 5m86、200m2位 銀メダル 26秒56
2016年	パラ陸上日本選手権でT42走幅跳6m56の世界新（5/1当時） リオデジャネイロパラリンピック 走幅跳2位 銀メダル 6m62、100m7位 12秒84、 4×100mリレー（第4走）3位 銅メダル 44秒16

【ベスト記録】

100m	12秒61	（2014 ジャパンパラ陸上競技大会 2014.9.7）	※日本記録
200m	26秒00	（第26回日本パラ陸上競技選手権大会 2015.7.18）	※日本記録・アジア記録
400m	1分00秒02	（第19回関東選手権 2014.7.6）	※日本記録・アジア記録
走幅跳	6m62	（IPCグランプリファイナル ロンドン2016.7.23）	※日本記録・アジア記録